

Industry 4.0を駆使したスマート6次産業化モデル構築事業（長崎県壱岐市）

取組概要

ICTやAIなどの先進技術を1次産業に取り入れ、対話交流による技術の共有と学習、環境改善への応用を実現し、Industry 4.0を駆使した新たな6次産業モデルを確立する。

取組の効果

- ・アスパラガスの自動灌水システムが完成することで、作業量の軽減と収量アップにつながる。また、将来的には全国展開や多産業への応用に繋げていく。
- ・アスパラガスの残渣を加工・商品化し、フードロスに繋げる。
- ・自動輸送により、輸送工数を削減するとともに、環境にやさしい社会の実現を図る。

創意・工夫した点

- ・ICTやAIを駆使し、最適な環境（水や温度、湿度）の下で効率的に農業を行える点。
- ・これまで、出荷のため長さ調整されたアスパラガス（残渣）約30tは、焼却場にて廃棄されていた。フードロスの観点から、この残渣を加工し、商品化できないか検討している点。

他団体へのアドバイス

- ・最新のシステムを導入し、生産から販売まで、すべての工程を一元管理できれば現在一次産業が抱えている問題解決（高齢化・後継者不足など）に繋がる。（現在、継続中）
- ・事業を進めるうえで、多様なステークホルダーとの連携が鍵となる。

人口 26,437人 (R2.1.1現在)

担当 SDGs未来課



ドローンを活用した生産物の自動輸送



アスパラガスの自動灌水システム